

『本願寺 金沢別院』

全国の別院シリーズ その7

親鸞聖人が、越後へ流罪になられた道筋を、第3代覚如上人はご巡錫になりました。その折に一字の草庵をしつらえて、本源寺と名づけられ、第2代如信上人の十三回忌を、お勤めになったことに、金沢別院は始まると伝えられています。

その後、第5代緯如上人、第7代存如上人の巡化があり、文明3年（1471）蓮如上人は、吉崎に坊舎を建立されてから、しばしば金沢へ足を運ばれました。

第10代証如上人は、金沢御堂（尾山御坊）とされ、阿弥陀如来像・親鸞聖人御影・実如上人影像・金泥名号・親鸞聖人絵伝・聖徳太子絵像・七高僧絵像を下付されました。

やがて天下統一の動きは、織田信長勢と本願寺との石山合戦などとなり、尾山御坊も佐久間盛政により、攻め滅ぼされました。

前田利家が金沢へ入城して、城の後町に尾山御坊復興の寺地を寄進し本堂が建立されました。

3代目利常は石川郡安江村に寺地を寄進しました。これが現在の別院のもとであると伝えられています。

やがて堂宇も数度の火災や天災に遭い、烏有に帰しましたが、加賀・能登・越中のお寺や門信徒の懇念により現在の本堂が再建され、種々の堂宇が整備されました。



金沢別院 山門



金沢別院 本堂

今後の法要スケジュール

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要（善教寺本堂）

十月 十六日（日）午後一時半〜

*毎月十六日に本堂において勤めております。

「護持会報恩講」（善教寺本堂）

十月二十九日（土）朝席：午前十時〜

昼席：午後一時半〜

講師 藤哲哉師（広島市中区中島町善福寺）

*送迎マイクロバスを運行します。

「報恩講」（善教寺本堂）

十二月 二日（金）朝席：午前十時〜

昼席：午後一時半〜

講師 海谷真之師（江田島市能美町光源寺）

*お接待当番 武士地区

*送迎マイクロバスを運行します。



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://www.otera.or.jp/> メール zenkyo@otera.or.jp